

秋田県秋田港及び能代港における洋上風力発電プロジェクトの商業運転開始について

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）は、特別目的会社「秋田洋上風力発電株式会社」（以下、「AOW」）を通じ、株式会社大林組、東北電力株式会社、コスモエコパワー株式会社、関西電力株式会社、中部電力株式会社、株式会社秋田銀行、大森建設株式会社、株式会社沢木組、協和石油株式会社、株式会社加藤建設、株式会社寒風及び三共株式会社（以下、「共同事業実施者」）と共同で、秋田県秋田港及び能代港において、日本国内初の商業ベースでの大型洋上風力発電プロジェクト（以下、「本プロジェクト」）を進めてきました。

今般、能代港洋上風力発電所において、2022年12月22日に再生可能エネルギー固定価格買取制度（以下、「FIT制度」）に基づく商業運転を開始しました。



能代港洋上風力発電所
(提供: 秋田洋上風力発電株式会社)

秋田港洋上風力発電所については、現在試運転作業及び法定検査を進めており、間もなく FIT制度に基づく商業運転を開始する見込みです。AOWでは、今後20年間に亘り、能代港を拠点とした運転保守体制の下、両発電所の運転維持管理を行っていきます。

丸紅は、秋田県が県内の再生可能エネルギーの導入拡大及び産業振興を目的として実施した「秋田港及び能代港における洋上風力発電事業」に2015年2月5日に事業者として選定されました。その後、丸紅が設立したAOWに共同事業実施者が出資参画し、開発可能性調査を実施した結果、2020年2月に事業化決定に至りました。2020年2月の着工以降、コロナ禍における様々な制約もありましたが、2022年9月に秋田港及び能代港において合計33基の風車据付工事が完了し、ほぼ当初計画通りの商業運転開始となりました。

丸紅は、2021年3月に気候変動長期ビジョンを策定し、中期経営戦略「GC2024」においてもグリーン戦略を企業価値向上に向けた基本方針の一つと位置付けています。本プロジェクトの実績を活用し、今後も積極的に再生可能エネルギー発電事業の開発に取り組んでいきます。

<本プロジェクト概要>

事業会社：秋田洋上風力発電株式会社

(代表者：代表取締役社長 岡垣 啓司)

所在地：秋田県秋田市、能代市（港湾区域を含む）

発電容量：約 140MW

総事業費：約 1,000 億円

発電形態：着床式洋上風力

売電先：東北電力ネットワーク株式会社

売電期間：20 年間

<関連プレスリリース>

・2016 年 7 月 27 日

秋田県秋田港及び能代港洋上風力発電事業への開発可能性調査共同実施について

<https://www.marubeni.com/jp/news/2016/release/20160727.pdf>

・2020 年 2 月 3 日

秋田県秋田港及び能代港における洋上風力発電プロジェクトの実施、及び融資契約の締結について

<https://www.marubeni.com/jp/news/2020/release/20200203J.pdf>

・2021 年 3 月 9 日

『気候変動長期ビジョン』～温室効果ガス排出のネットゼロに向けて～

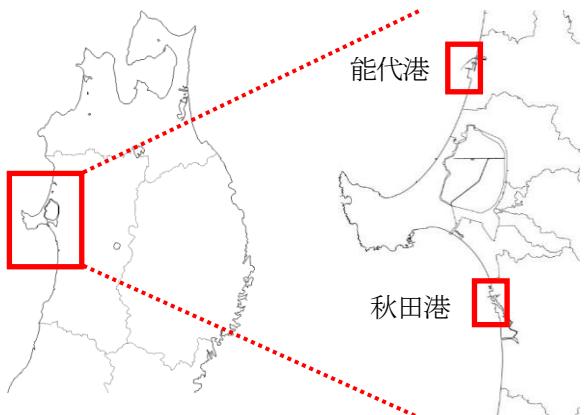
<https://www.marubeni.com/jp/news/2021/release/00022.html>

・2021 年 4 月 27 日

秋田県秋田港及び能代港における洋上風力発電事業の洋上据付工事の開始について

<https://www.marubeni.com/jp/news/2021/release/00039.html>

所在地地図：



以 上